

「おかあさんに見せたい」

なわとびを、1回跳んだ瞬間、4歳児のTちゃんはキョトンとした表情を浮かべました。

やった!

Tちゃん、すごいよ! その調子! 今の回し方、良かったよ。なわが足に引っかけたね。

みるみるうちに満面の笑顔をみせるTちゃん。

わたし、おかあさんに、いっぱい跳べるとこ見せたいが。

Tちゃんのますぐな瞳から、強い願いが伝わってきました。

いっしょうけんめい練習に取り組むTちゃんを、クラスのみんなが応援していました。

Tちゃん頑張れ!

数日後、なわとびを10回も跳べるようになったTちゃんの姿に、思わず胸が熱くなりました。

みんなでなわとびの練習を始めてから5ヶ月…。  
 友だちの努力する姿や応援が大きな支えになっていることを感じさせられる出来事でした。

「え〜っ! なんで?」

子どもたちの提案で始まった4・5歳児のドッチボール対決。  
 最近、めきめき腕を上げた4歳児チームが勝って、みんな大騒ぎです。

ワイ! ぼくたちの勝ち。 やったー! えー? 何ぞ?

5歳児チームはくやしさをにじませました。

何で負けたんやろう…。

くやしい!

Yくんが書いた見取り図をもとに、次の試合に向け、作戦を考える5歳児の子どもたち。

AくんとBちゃんは、すぐにボールを投げるから、ぼくたちは、このへんにおらんなん。

うん! やってみよう!

そして、次の日の試合は、5歳児チームが勝利をおさめました。

やったー! うれしい!

おにいちゃんたち、強いね。

またしよう!

おもしろかった!

互いの力を認め合いながらあそぶ喜びが、みんなの笑顔から伝わってきました。